

STEP  
03

## わかりやすく説明しよう

A型「説明文」の書き方、説明文の序論、説明文の本論、コピーチェッカー

- ・ 前回紹介したレポートの4型のうち、A型の説明文（授業内で書くような、資料引用がない短い説明文）を説明し、実際に書いてもらいます。
- ・ 授業2回分を想定しています

## 準備

- ・ レジメ+資料1（4ページ）

## 進め方（1週目）

## 1. 今回の課題

+

- ・ 例に挙げている言葉で……
  - 「ダメ金」は吹奏楽部の用語です。同じ金賞でも上位の大会（県大会から全国大会へ等）へ進める金賞と進めない金賞があり、進めない方がダメ金です
  - 「カッパ沼」は私の実家の近くにあった沼で、カッパのうわさが絶えない場所です。
  - 「背広の語源」はロンドンの高級洋服店街 Savile Row からです（諸説あります）。
  - 受話器のコードがからむのは、右手で受話器を取って、メモを取るとき左手に持ち替えてそのまま置くので、半回転ずつねじれるからです。
  - 「サラダ味」は塩味ですが、塩をからめるのに使ったサラダ油がかつては高級品だったので「サラダ味」としたそうです。（諸説あります）
  - マーガレット廣井は、「八十八ヶ所巡礼」というロックバンドのベース&ボーカルで、すごい女性です。

・ コピーチェッカー (<https://ccd.cloud/>) の使い方

+

- ① 学生のレポートを「調査対象テキスト」に貼り付けます
  - ② 下にある緑色のボタン【規約に同意してコピーチェックする】を押します
  - ③ 結構待ちます（10秒くらい）。「お知らせ：すべてのチェックが完了しました」というポップアップが出ます
  - ④ [F5] キーを押して、ページを更新します（更新しないと結果がいつまでも「調査中」のままです）
  - ⑤ ページを下の方にスクロールすると「コピーチェック結果一覧」があります。  
赤い「コピーの疑い」がついていたらアウトです。【詳細表示】を押すとコピー元のサイトがわかります。
- 面倒なので学生に自分でチェックさせたらいいと思います。  
自己チェックを通じて、こういうツールがあることを学生に周知させておけば抑止力になるでしょう。

## 2. A型で書こう

- ・ 1ページ目の下、A型の構成図の中で……
  - 序論（概要）は、A型の場合、これからする説明を一言で要約したもの、要点になります。  
裏面の2-1を参照してください。「チョコちゃんに叱られる」を例に出すと学生に通じやすいです。
  - 本論（詳細）のところに書いてある①②③④は、裏面の2-2に説明があります。

### 3. ネット引用について

- ・レジメに書いた通りです。正しい方法を教えるまではネット引用は禁止にします。

※説明が終わったら、残り時間で執筆です。

※書いたファイルをどうするかは先生方にお任せします（自分の名前をファイル名にして教員にメール送信する、あるいはそのままパソコンに保存しておく、など）

---

#### 進め方（2週目）

- ・前半は執筆作業の続き、後半で発表させます。
  - 発表のやり方はお任せします。自分のレポートをそのまま読ませてもいいのですが、2～3人で交換させて、他人のを読ませるやりかたも面白いかと思います。
  - 読んだ後、教員から「ここどういう意味？」と読んだ人の方に質問するので、それに答えられるよう、読む前に互いにわからないところを聞きあうようなコミュニケーションが生まれるかも、と。
  - 誰の発表に一番「これは知らなかった」と思ったか、点数や順位をつけてもいいかもしれません。